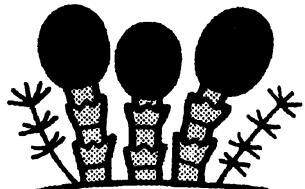


県医師会誌 指標原稿から
人生の「フィナーレ」に感動を
～在宅ターミナルケアに感動～

奥津 紀一



と同時にターミナルケアに入るもの。この悪性腫瘍のグループに在宅ターミナルケアの意義を強く感じます。

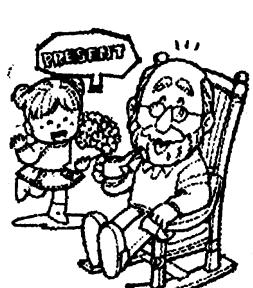
と共にケアにあたります。医師の往診は一回／週程度で、痛みを和らげることや、点滴、とこずれの対策などが主な仕事となります。

①オリエンテーション

在宅でのターミナルケアは、自宅といふ患者にとって最も居心地の良い場所で、家族、知人に囲まれながら、看とりを行うことで、本人が快適に過ごせるなどを主な目的としている。われわれケアチームは、そのサポートを充分に行う用意のあることを患者と家族に良く説明する。

患者が急死したり、朝起きたら亡くなつたなどと云ふことが起つても、それは、むしろケアがうまく行つたことになるのだと云ふことも話す。家族が不安なく介護できる状態を作りだすようにします。

悪性腫瘍の患者の場合は、病名の告知がしてあることが大切で、告知されてないと最後まで癌をついてゆくことになり、患者と周囲との真心の交流は起こらず、在宅でターミナルケアを行つた意義がほとんどが失われてしまいます。



③臨終時

臨終が近くなると日に数回往診することも出できます。臨終時には医師、看護婦が立ち会います。その後家族、親戚に経過を説明し、家族の勞をねぎらいます。また死後の処置などの役割分担をはつきりさせておくことも必要なのです。

在宅でターミナルケアを行うことは、家族にとって大変な負担となります。ですが、「亡くなつてゆく人との心が通じ合えた」ということができるだけのことをしてあげることができたということから達成感や満足感が生まれます。医師や看護婦にとっても患者や家族と共に喜び、悲しみ、生死の問題を考えながら、ケアを行う間にはいろいろ学ぶものが多くあります。良いケースを積み重ねながら、ターミナルケアをより質の高いものへと創りあげてゆくことができます。

★要付けからのお願い

日初めには必ず保険証を受付けにお出し下さい。
診察券は毎回お持ち下さい。

けんこうニュース

死を前にすると人々は、皆純粋な気持ちになってしまいます。こういう中で病人が少しでも楽に過ごせるよう努力する人達、周囲の気遣いに感謝しながら生をまつこうしてゆく人達。この真心からの交流は、ターミナル(死)に近づくにつれて高まって行き、やがてファイナーレを迎える後には、快い達成感と解放感が残る。ターミナルケアがうまく行くと私たち医師や看護婦もやりがいを感じ、心洗われる思いがします。

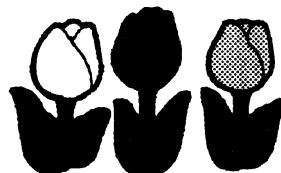
(平成四年四月～平成十年一月末)

悪性腫瘍によるもの…十名
老衰、脳卒中その他…三十七名

といふことで大部分(3/4)は、脳卒中や老衰で在宅医療を続けていた人が衰弱を強め、ターミナルケアに至るもの、その他の約1/4の人には、悪性腫瘍で、病院から退院する

在宅ターミナルケアの現場

ことしの一月は私にとって、大変に忙しい、また意義深い月でした。



3月・4月の休診日
(日曜・祭日)
水曜・土曜・第一火曜午後

